

さくら組だより

令和6年3月 家久保育園

昼夜の寒暖の差はありますが、日中のぽかぽか陽気が春を感じさせてくれます。さくら組での一年があっという間に過ぎようとしています。4月当初はお家の方と離れるのがさみしくて泣くことがあった子ども達も、今では「おはよう！」と元気に登園してきてくれるようになりました。また、自分でできることも増え、身の回りのことを一つ一つ自分でしようとする姿に成長を感じます。最近では「もうすぐもも組さん！」と、楽しみにしているようで、一つ大きいクラスになることへの期待も高まってきているようです。子ども達一人一人の進級への期待や不安を受け止めながら、残りわずかな日々を子ども達と楽しんでいきたいと思えます。

♪楽しかったね♪～さくらぐみ～



春

天気の良い日には戸外で遊んだり、年長さんに招待してもらったスタバ屋さんやたこ焼き屋さんで遊んだりしました。年上の友達に遊んでもらうことを喜んでいたり、クラスでも、新聞紙を使ってたこ焼きづくりをして遊びましたよ。手先を使って新聞を丸めたり、鍋に入れて料理をしたり、皿に並べたりと見立て遊びを楽しみました。



夏

今年の夏は暑さが厳しく、なかなか戸外で水遊びを楽しむことができませんでした。室内で新聞プールやボールプールをしたり、自分で作ったお面や衣装を身に着けて、おばけごっこをしたりして遊びました。新聞の感触を味わったり、全身を使って楽しんだり、おばけごっこでは、怖い声やポーズを工夫する姿も見られました。



走ったり、跳んだり、投げたりと全身を使って遊んだり、遠足ごっこをしたりしました。運動会ごっこでは、おばけになりきってジャンプや的あてに挑戦しましたよ。遠足ごっこでは、お弁当やリュック、ハンドルなどを自分で作り、友達とイメージを共有しながら、楽しかった経験を遊びの中で再現して



楽しみました。

コマや風船付き、カード取りなど正月遊びをしたり、お店屋さんごっこを楽しんだりしました。自分で作ったコマで遊んだり、簡単なルールを守りながらカード取りをして遊んだりしました。お店屋さんごっこでは、年上の友達に遊ばせてもらうだけでなく、友達同士で簡単なやり取りをしながら楽しむ姿が見られました。



秋

自分でできるよ!

この1年で子ども達はいろいろなことができるようになりました。自分で着替えができるようになった子、トイレでおしっこができるようになった子、お話が上手になった子…自分でできることが嬉しくて、少し難しくても自分でやってみようという姿が見られます。これからも、子ども達の“やってみよう”という気持ちを大切に、自分でやろうとしている姿を見守っていきたいですね。

もも組になったら・・・

★ユニフォームを着て登園になります。ハンカチをポケットに入れて使うようになりますので、使いやすいサイズのハンカチをご用意ください。また、ご家庭でも、ポケットを使ってのハンカチの出し入れの練習を、お子さんと一緒にやってみてくださいね。



冬



今年一年間、子ども達と毎日楽しく元気に過ごすことができました。この一年間で、いろいろなことができるようになった子ども達。そんな成長していく姿を一番近くで見られたことや、一緒に喜べたことを本当に嬉しく思っています。

保護者の皆様には、一年間、ご理解、ご協力をいただきまして、ありがとうございました。

さくら組 担任